

# RI Digital Conference Japan 2020

Designing the sustainable 'new normal' | October 28th to 29th

10月28日水曜日		
9:45	10:15	<b>基調インタビュー: Fiona Reynolds, Chief Executive Officer, PRI</b> <p style="text-align: right;">英語 (日字幕付)</p>
10:30	11:30	<b>パネル1: ESG投資の拡大を通じた持続可能な“ニューノーマル”経済のつくり方</b> <p style="text-align: right;">日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- グリーンイノベーション、長期的かつサステナブルなビジネス・投資戦略、ステークホルダー資本主義..これらは日本経済強靱化の指標になるか？</li> <li>- 公的年金基金のESGマンドートの興隆を後押ししているものは何か？日本銀行の”最大株主”への歩みは、何を意味するのか？</li> <li>- パンデミック渦中のESGファンドの堅調な成績は、強いファンダメンタルズの証なのか？ESG懐疑論者を信望者に転身させたのか？</li> <li>- ステークホルダー資本主義は、これまでの株指向のROE努力を白紙にするのか？</li> </ul> <p>福山圭一、公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構、上席研究員                  河口真理子、不二製油グループ本社CEO補佐、立教大学21世紀社会デザイン研究科特任教授                  多湖理、日本代表、FTSE Russell                  モデレーター：森澤充世、PRI事務局ジャパンヘッド</p>
11:45	12:40	<b>パネル2: グローバル投資家が見るESGのホットトピックと投資戦略への組み込み：食品の安全保障、抗生物質、サイバーセキュリティ、ビッグデータ、ソーシャルメディアとプライバシー</b> <p style="text-align: right;">英語 (日字幕付)</p> <p>世界をリードする責任投資家が、最先端かつ時に物議を醸しているESG課題をどう分析しているのか語ります。また、リサーチ、アセットアロケーション、運用機関アセスメント、採用活動やレポート活動にどう反映させているのかを紹介します。</p> <p>Chris Newton, Executive Director, Responsible Investment, IFM Investors                  Antony Eames, Director of Responsible Investment Strategy, Calvert                  Hans Stoter, Global Head of AXA IM Core                  Fiona Stewart, Global Lead Insurance and Pensions, World Bank Group                  Katie Beith, Senior Investment Strategist, Responsible Investment, NZ superfund                  Moderator: Hugh Wheelan, Co-founder and Joint Managing Director, Responsible Investor</p>
12:40	13:30	50分休憩
13:30	13:45	<b>基調講演: 小森 博、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)、市場運用部次長、スチュワードシップ推進課長</b> <p style="text-align: right;">日本語</p>
13:45	14:45	<b>テーマ別探求: 運用機関そしてアセットオーナーにとっての進展するスチュワードシップ責任</b> <p style="text-align: right;">日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2020年頭のスチュワードシップコード再改訂は投資家のアクティブオーナーシップ戦略をどう変えたのか？</li> <li>- 運用機関はアセットオーナーからのスチュワードシップマンドートを実際どう遂行しているのか？進捗や成果をどう評価できるのか？</li> <li>- 主要ガバナンス課題についての、エンゲージメントのベストプラクティスに共通認識はできたのか？会社役員は今や十分株主に対する責任を果たしていると言えるだろうか？</li> </ul> <p>矢部信、公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構、特任研究員                  高田英樹、財務省主計局、給与共済課長                  三橋和之、三菱UFJ信託銀行株式会社、資産運用部 副部長兼フェロー</p>
15:00	16:00	<b>テーマ別探求: Sについて考える: 企業の成功を後押しする働きやすさ、ダイバーシティとインクルージョン</b> <p style="text-align: right;">日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コロナ禍での企業のレジリエンスを理解するため、投資家はどうか企業戦略、労働力や人材マネジメントについての情報を使っているのか？</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 人材と将来の成長を担う人材を担保するため、企業はどんなダイバーシティやインクルージョン戦略を採用しているのか？</li> <li>- 役員室と職場におけるジェンダー平等はどれだけ進んできたのか？</li> </ul> <p>関崎陽子、丸井グループ、サステナビリティ部長兼ESG推進部長 村上由美子、OECD東京センター所長 中野次郎、日興アセットマネジメント株式会社 株式運用部長 モデレーター：夫馬賢治、ニューラル、CEO</p>
18:00	19:00	<p style="text-align: center;"><b>*RI購読者限定セッション*</b></p> <p><b>イブニングセッション: Leaders in ESG and Sustainable Finance</b></p> <p style="text-align: right;">英語</p> <p>Q&amp;Aも含めたライブ配信セッションにて、世界のアセットオーナーが理念や方針、受託者責任の管理とアセスメント、長期投資、運用機関採用、エンゲージメント方針策定のプロセスなどについて話します。</p> <p>Susanne Røge Lund, Director, ESG Investments, ATP</p>
<b>10月29日 木曜日</b>		
9:45	10:15	<p><b>基調インタビュー: George Serafeim, Charles M. Williams Professor of Business Administration, Harvard Business School</b></p> <p style="text-align: right;">英語（日字幕付）</p>
10:30	11:30	<p><b>パネル3: ゼロ・エミッションを目指した低炭素移行の日本の本気度</b></p> <p style="text-align: right;">日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 言行一致: 日本の低炭素移行への段階やタイムフレームはどれだけ見込みがあるのか、または技術面のイノベーションに過度の期待が寄せられているのか？投資家の観点は？</li> <li>- 日本の企業や投資家は欧州連合のサステナブルファイナンス・アクションプランやグリーンディールをどう捉えているのか？またどう反応しているのか？</li> <li>- 様々なイニシアティブやインセンティブ、金融体系・商品は、実際日本のグリーントランジションの触媒になりえるのか？</li> </ul> <p>長谷川雅巳、日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長 平田仁子、気候ネットワーク 国際ディレクター</p>
11:45	12:40	<p><b>パネル4: グリーンファイナンス、サステナブル投資の国際的な協調</b></p> <p style="text-align: right;">英語（日字幕付）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 欧州圏以外の金融アクターにとって、欧州のサステナビリティファイナンス戦略はどんな意味を持つのか？</li> <li>- 様々な地域で発展するグリーン・タクソノミーや開示スタンダードは、どれだけ相互補完性があるのか？</li> <li>- 二国間、多国間レベルでの政策討議や合意はどの様な状況にあるのか？</li> <li>- 世界共通のスタンダードは期待できるか？</li> </ul> <p>Yao Wang, Professor and Director General of International Institute of Green Finance, CUF Yo Takatsuki, Head of ESG Research and Active Ownership, AXA Investment Managers Aldo Romani, Head of Sustainability Funding, EIB David Smith, Head of Corporate Governance - Asia Pacific, Aberdeen Standard Investments Moderator: Anastasia Milovidova, Manager, PwC Sustainability Centre of Excellence</p>
12:30	13:30	50分休憩
13:30	13:45	<p><b>基調講演: 住友化学 常務執行役員、経団連 建設的対話促進WG座長、佐々木啓吾</b></p> <p style="text-align: right;">日本語</p>
14:00	15:00	<p><b>テーマ別探求: サステナビリティリスクについての企業情報開示: 投資家は企業の何を、なぜ知りたいのか？さらにアセットオーナーや最終受益者は運用機関の何を知りたいのか？</b></p> <p style="text-align: right;">日本語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 世界のレポートスタンダードがどう進展し、かつ融合しつつあるのか？この先数年でどんな発展が期待されるのか？データの有効性は？</li> <li>- ESG課題に関連するサステナビリティ指標について、整然とした意味のある情報開示はしうるのか？また義務化される可能性はどれだけあり、それによって望ましくない影響がでることはないのか？</li> <li>- 投資家は将来的にクライアントに対してどんな情報開示をしなければならなくなるのか、またそれによって投資提案にどんな変化が起こるのか？</li> </ul>

		<p>鶴野智子、CSRデザイン環境投資顧問、アドバイザー  佐藤亜紀、日立製作所、サステナビリティ推進本部、企画部長  三木誠、日本取引所グループ、総合企画部、サステナビリティ推進本部 事務局長  モデレーター：三井千絵、野村総合研究所、上級研究員</p>
15:15	16:10	<p><b>テーマ別探求：グリーンウォッシングの危険性：本当のグリーンバリューの見極め方</b> <span style="float: right;">英語（日字幕付）</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ESG、サステナビリティファンドは、どう形成され、どれだけ「グリーン」なのか？</li> <li>- 各種タクソミーは現実世界で「グリーン」な投資商品を選定するのに役立っているのか？</li> <li>- 様々なグリーンスタンダードが存在する中、投資家はどのパリ目標に沿ったポートフォリオを組むことができるのか？</li> </ul> <p>Helena Fung, Head of Sustainable Investment, APAC, FTSE Russell  Trucost</p>